

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策01 循環型社会の形成	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の環境変化】 ○江別市一般廃棄物処理基本計画の策定 （平成23年3月） ・平成9年3月に、平成9年度から平成23年度までの15年間を計画期間とし、平成16年度を中間目標年度とした江別市一般廃棄物処理基本計画を策定。 ・策定後、国の廃棄物処理法改正や個別リサイクル法整備等の法体系整備、江別市においては平成12年3月からの資源物行政収集開始や旧ごみ焼却施設更新が必要となったこと等から、平成14年3月に見直し。 ・その後、人口減少や世帯の少人数化といった社会環境の変化のほか、消費やごみ排出における市民ニーズの変化等から、1年前倒しして新たに平成23年度から平成32年度までの計画を策定。</p>	<p>平成16年度より家庭ごみの有料化を開始したが、それに伴う減量の程度や効果を施策の環境変化に記載したほうがよい。</p>	<p>3割程度の減量が達成されたことは事実なので、記載を検討する。</p>
	<p>環境変化の文章がわかりにくく感じる。1つ1つ箇条書きになっているが、もう少し言葉を補って1つの文章として表現した方がよいのではないか。</p>	<p>表現に工夫ができないか検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の課題】</p> <p>○一般廃棄物処理基本計画の各施策の進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3Rの推進 <ul style="list-style-type: none"> ごみの発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）をより一層推進する必要がある。 ・ 適正なごみ処理の確保 <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄や事業系ごみの適正処理などの啓発が必要である。 ・ 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> 新たに開始した大型ごみ戸別収集や子育て世帯などを対象にした指定ごみ袋無償配布などの制度の検証が必要である。 ・ 経済的・効率的なごみ処理の推進 <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理業務の委託拡大の検討が必要である。 	<p>敢えて「子育て世帯などを対象にした」と書かなくても、「指定ごみ袋無償配布などの制度による配付状況・使用状況の検証が必要」としてもよいのではないか。</p>	<p>子育て支援、身障介護、生活保護の方が受けているが、そのなかでも一番多く無償配布を受けているのは子育て支援の方である。このため「子育て世帯」とした。指摘のように、敢えて限定的な対象を記載しない方がいいようにも思うので工夫する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【意図】</p> <p>資源がリサイクルされ循環し、ごみ排出量が減る。</p>	<p>「資源がリサイクルされ循環し」とあるが「循環し」の部分は不要ではないか。</p>

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策01 循環型社会の形成 基本事業01 ごみの発生・排出の抑制	適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 事業系ごみが減少し、家庭系ごみ及び集団資源回収の収集量がほぼ横ばいとなったことから、全体として近年の増加傾向から若干の減少となりました。昨年は事業系の廃棄物について介護保険事業所を対象としたセミナーを開催するなど、分別の徹底や資源化について事業者の方々に協力をお願いしてきたところですが、基本計画にもある多量排出事業所について事業系廃棄物の量は影響が大きいことから順次事業者のごみ排出について広報等に努めていきます。</p>	<p>家庭系のごみについての説明が不十分に感じる。市民が積極的にマイバッグを持つことやコンポストの利用により、ごみの減量に寄与している現実があるので、それをここで評価しておくことが今後も市民がごみの減量に寄与していくことへのモチベーションとなるのではないかと。</p>	<p>表現を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【目的】 市民・事業者それぞれが、過剰包装の廃止や生ごみの堆肥化など製造・流通・消費過程での改善を行い、ごみを「つぐらない」「ださない」ことにより、ごみの発生量・排出量を減らします。</p>	<p>市民や自治会がどうすればごみの発生抑制につながるかというモデルパターンを示して、それらをうまく組み合わせることで「これだけ削減ができる」という事例を示すことが、ごみの削減につながる良い情報提供になるのではないかと。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策01 循環型社会の形成 基本事業02 ごみ資源化の推進	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 資源化率は全国平均及び全道平均と比べ高い水準で推移しておりますが、集団資源回収量は概ね横ばいとなっております。これは社会環境の変化や民間事業者による新聞紙等古紙類回収量の増加など資源回収ルートが多様化が進んだことが要因と考えられます。市の資源物回収量や資源物の回収拠点の状況、及び集団資源回収実施団体数の増加から、市民の資源化に対する意識が広まってきており、今後も市民に対する啓発活動を継続的に推進します。</p>	<p>「資源回収ルートが多様化が進んだことが要因」とあるが、「要因」という記載は良いことなのか悪いことなのかがわからない。文章表現に工夫をして「良いことなのだ」という印象を与えられるようにした方がよいのではないか。</p> <hr/> <p>目的に「再利用」という言葉もあるので、リサイクルバンクの利用状況等に関する記載があっても良いのではないか。</p>	<p>記載について検討する。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策01 循環型社会の形成 基本事業03 適正なごみ処理の推進・啓発	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 不適正排出が減少し事業の効果が現れたが、不法投棄は増加。増加の要因は地デジ化によるテレビの投棄台数増が要因となっている。 環境クリーンセンターの運転停止日数については、突発的緊急停止は発生しなかったが、安全保全上事前停止を行った結果2日の停止に至った。今後も安全、安定運転に努めてく。</p>	<p>基本事業名は「適正なごみ処理の推進・啓発」にも関わらず、達成状況の中では啓発に関する部分が読み取れないように思う。予防的な対応に関する記載があることが望ましいように思う。</p>	<p>記載について検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【成果指標】 不法投棄処理件数 不適正排出処理件数</p>	<p>「市民からの苦情等の中でごみに関するものはこんなにも少なく、啓発活動や市民の協力もしっかりできているのだ」と捉える数字としてごみ処理全般に関わる市民からの苦情等について収集・分析をしてはどうか。</p>